

自治基本条例をつくる会 会議概要

第15回会議	
開催日時	平成19年11月28日（水）18:30～20:30
開催場所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出席会員	13名 岩本信子、衛藤弘光、岡村啓二、河野朋子、 草田和枝、酒井敏正、縄田祥子、長谷川眞幸、 林久芳、平原廉清、室住友子、山田義隆、弓取康英
出席職員	市長公室長、行政改革課長
協議概要	1. 山陽小野田市民まつりで市民自由帳に寄せられた市民のご意見について ●前回までに意見の仕分けを行ったが、解決策の検討と、ニュースレターによる更なる意見募集について実施していくかどうか、仕分けされた意見の細分化を行っていくか等について意見はないか。 ●メンバー間で出た問題点、まつりで出た問題点を行政・議会・市民に整理しているが、これをみんなで一つ一つまとめていくのか、分散してまとめていくのか決めて、絞っていかないといけない。 ●解決策から条例への反映というシートをもらっているので、行政・議会・市民部門毎にグループ分けして検討してはどうか。 ●似たような意見もあるので、まとめていかないと相当の時間がかかる。 ●スケジュールにあるように作業部会を立ち上げるということでやっているの、それぞれに意見の出ることを待っていた。行政・議会・市民部門に分けて集約を行うほうが良いのか皆さんの意見が欲しい。 ●基本条例の精神に生かせる意見と、基本条例とは関係ない今の行政に関する単なる意見・要望・批判とにある程度、色分けできると思う。まず、色分けして、その中でこの意見は基本条例の中に取り込めるという意見を抽出していく。例えば、2ページ目の行政編のところを見ても、“山陽小野田市の環境への取組が不十分。ゴミの分別をもっと厳しくすべきでは”という意見が出ている。こういうゴミの捨て方などは、基本条例の中に取り込めるものじゃないかという気がする。今まで整理してきたものをある程度各作業班に分けてそこで検討するというのはどうか。 ●この人数で班分けするのはどうか。 ●班が常時同じメンバーでないと。いつもメンバーが違っているという訳にはいかないだろう。 ●班に分けても、メンバーに温度差が出たときに違うものが出来上がってこないか。 ●お互い考えも違うし温度差もある。それはいいと思う。3班なりに分かれてその抽出の結果、また全員で検討してみればいい。そうすると他の班の人から質問が出たり意見されればいい。 ●行政・議会・市民の3班に分けて、それだけを検討するのではなく、班がそれぞれに全ての検討を行って発表し、全体で議論する形をとってみてはどうか。そしてそれをまとめていったほうが話が早いのではないか。 ●班分けする前に意見を集約するほうが先ではないか。そのほうが早いのではないかと思う。

●もう少し細分化するほうが先ではないか。行政に関することでも、市長の問題、職員の問題、執行機関、執行体制、意見要望苦情への対応等に分かれるのではないかと思う。それを決めないとA班は何々、B班は何々と検討すると後でまとめるのに二度手間になってしまうと思う。テーマが大きすぎると解決策に結びつかない。

●今まで我々の出してまとめた意見に市民から出た意見をひとつのシートにまとめることはできないのか。

●班分けする前に、意見を一つのシートに集約するほうが先だと思う。

⇒3班に分かれて全てのテーマを検討する。

行政・議会関係者を各班に振り分け、男女比等メンバーが偏らないようにする。

つくる会の意見と市民の意見を一つのシートに集約する作業を行った。

2. 次回開催について

第16回会議：平成19年12月26日（水）18:30～第2委員会室